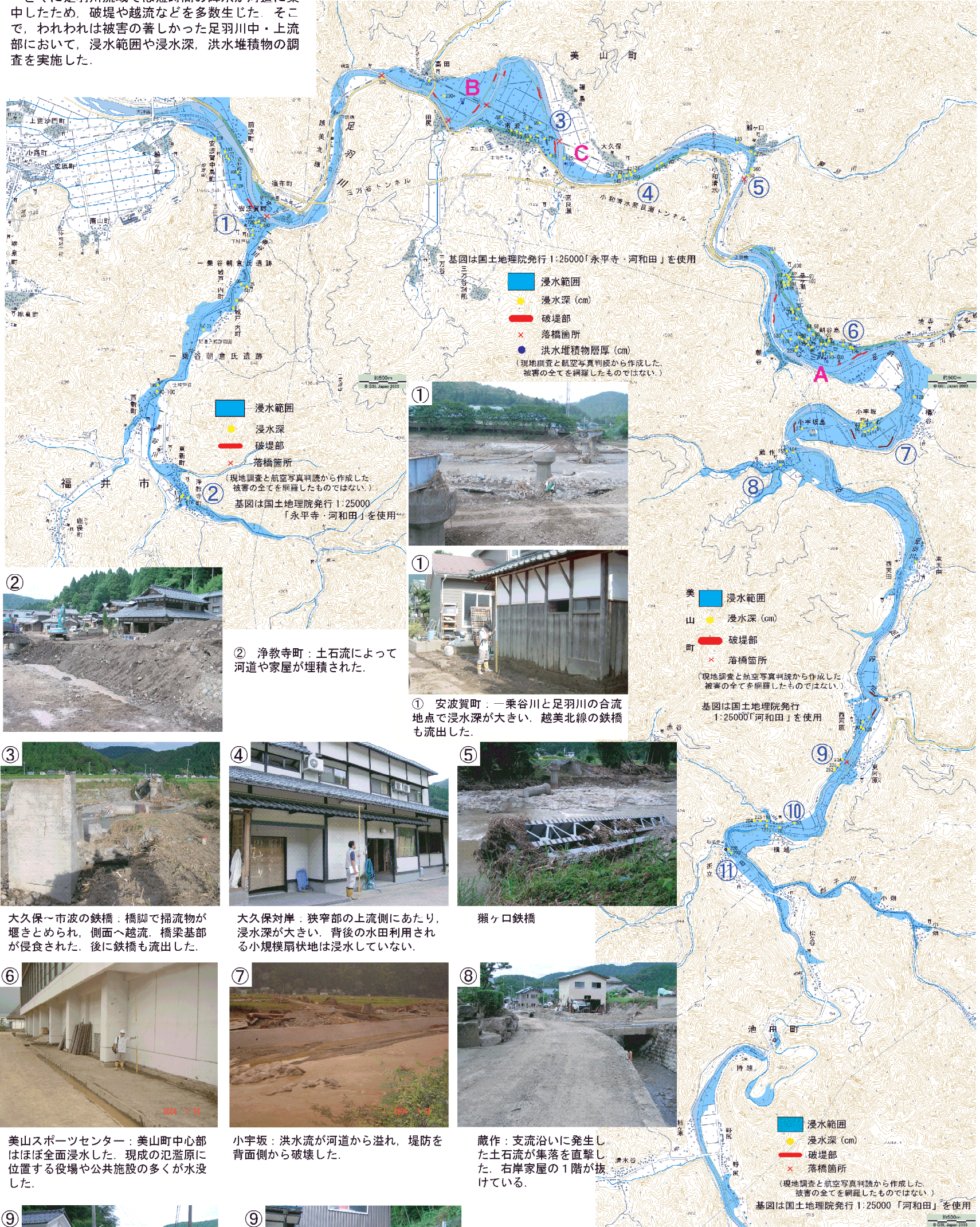


廣内大助（名古屋大学・環境学研究科）・堀 和明（名城大学・理工学部）

[はじめに]

平成16年7月18日、福井県北部・嶺北地方において集中豪雨が発生した。死者行方不明者5名、全半壊家屋は200世帯を数え、橋梁の流出7箇所など大きな被害が報告されている(8月20日現在)。当日の降水量は福井市から美山町にかけての足羽川流域において著しく大きく、美山町では最大時間雨量87mm、7月18日における24時間の積算雨量は283mmに達した。同様に福井市でも最大時間雨量75mm、24時間積算雨量197.5mmを記録した。

とくに足羽川流域では短時間の降水が河道に集中したため、破堤や越流などを多数生じた。そこで、われわれは被害の著しかった足羽川中・上流域において、浸水範囲や浸水深、洪水堆積物の調査を実施した。



② 浄教寺町：土石流によって河道や家屋が埋積された。

① 安波賀町：一乗谷川と足羽川の合流地点で浸水深が大きい。越美北線の鉄橋も流出した。

③ 大久保～市波の鉄橋：橋脚で掃流物が堰きとめられ、側面へ越流。橋梁基部が侵食された。後に鉄橋も流出した。

④ 大久保対岸：狭窄部の上流側にあたり、浸水深が大きい。背後の水田利用される小規模扇状地は浸水していない。

⑤ 猿ヶ口鉄橋

⑥ 美山スポーツセンター：美山町中心部はほぼ全面浸水した。現成の氾濫原に位置する役場や公共施設の多くが水没した。

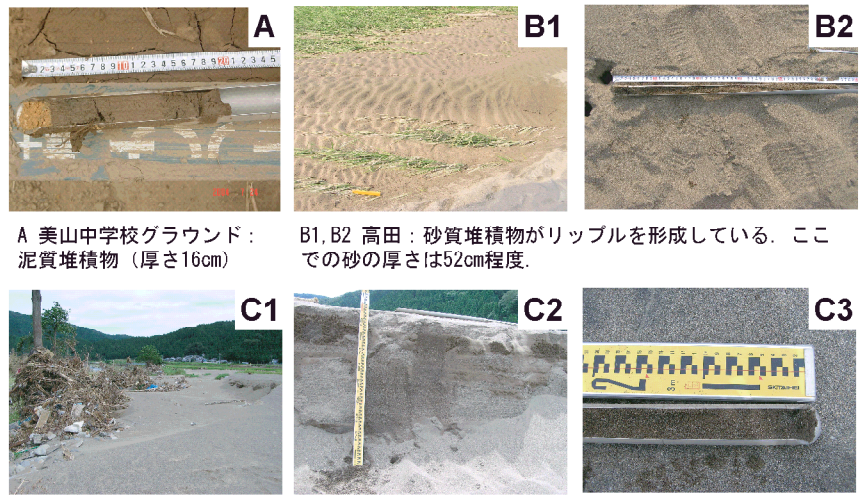
⑦ 小宇坂：洪水流が河道から溢れ、堤防を背面側から破壊した。

⑧ 蔵作：支流沿いに発生した土石流が集落を直撃した。右岸家屋の1階が抜けている。

⑨ 西河原：足羽川本流の狭窄部上流側で浸水深が大きい。本地区では橋梁も流出した。写真の浸水深は274cm

⑩ 横越・折立：写真のガソリンスタンドは、足羽川の側方侵食によって土台から傾いている。両地区は県道が土石流で寸断され、1週間近く陸の孤島と化した。下味見郵便局の浸水深は約220cm。

足羽川沿いの洪水堆積物の例



A 美山中学校グラウンド：泥質堆積物（厚さ16cm） B1, B2 高田：砂質堆積物がリップルを形成している。ここでの砂の厚さは52cm程度。

C1, C2, C3 大久保：砂質堆積物が厚く（150cm）堆積した。